

(2) 漁業集落排水人口

計画処理区域内人口については、上下水道課で設定しているアクションプランの計画人口を参考にし、等差的に増加するよう人口の推計を行いました。

◆図表 6.3.2 漁業集落排水人口（戸崎）の予測値

年 度			行政区域内 人 口 予測値 (人)	計画処理区域 人 口 (人)	対行政区域 内人口 (%)	漁業集落 排水人口 (人)	接続率 (%)
2014	H26	↑	29,470	321	1.1	277	86.3
2015	H27	実績	29,086	315	1.1	270	85.7
2016	H28		28,569	308	1.1	267	86.7
2017	H29		28,202	307	1.1	266	86.6
2018	H30		↓	27,833	310	1.1	272
2019		↑	27,773	305	1.1	270	88.6
2020		見 通 し	27,713	299	1.1	269	89.8
2021			27,653	294	1.1	267	90.8
2022			27,593	290	1.1	266	91.6
2023			27,533	287	1.0	264	92.1
2024			27,473	283	1.0	262	92.5
2025			27,415	280	1.0	261	93.3
2026			27,280	276	1.0	259	93.8
2027			27,145	272	1.0	257	94.5
2028			27,010	268	1.0	256	95.5
2029			↓	26,875	264	1.0	254

(3) 合併処理浄化槽人口

合併処理浄化槽人口については、人口及びごみ量の推計と同様に、「ごみ処理施設構造指針解説」にて示されている記述をもとに、過去5年間（2014～2018年度）の実績値を基本として、図表4.3.1に示す5つの推計式を用いて推計を行いました。

5つの推計式を用いた結果、実績値と同様の傾向を示す一次傾向線を採用しました。（資料編 図表3-1参照）

(4) その他の生活排水処理形態別人口

本市の環境基本計画の中で、「水環境の保全対策を推進する」ための基本施策として河川や池などの水の汚染防止が掲げられています。

基本施策を達成するための取り組みとして、公共下水道接続率の向上や生活排水未処理世帯への合併処理浄化槽の普及を図ることとしています。

よって、生活雑排水を未処理で河川等に放流している単独処理浄化槽、くみ取便槽については、合併処理浄化槽への転換、公共下水道や漁業集落排水処理施設に接続を推進することから減少させていく計画としました。

具体的には、行政区域内人口から公共下水道人口、漁業集落排水処理人口及び合併処理浄化槽人口を差し引いた値を、2018年度における単独処理浄化槽人口とくみ取便槽人口の比率で按分した値を各々の処理人口の予測値としました。

(5) 生活排水処理形態別人口

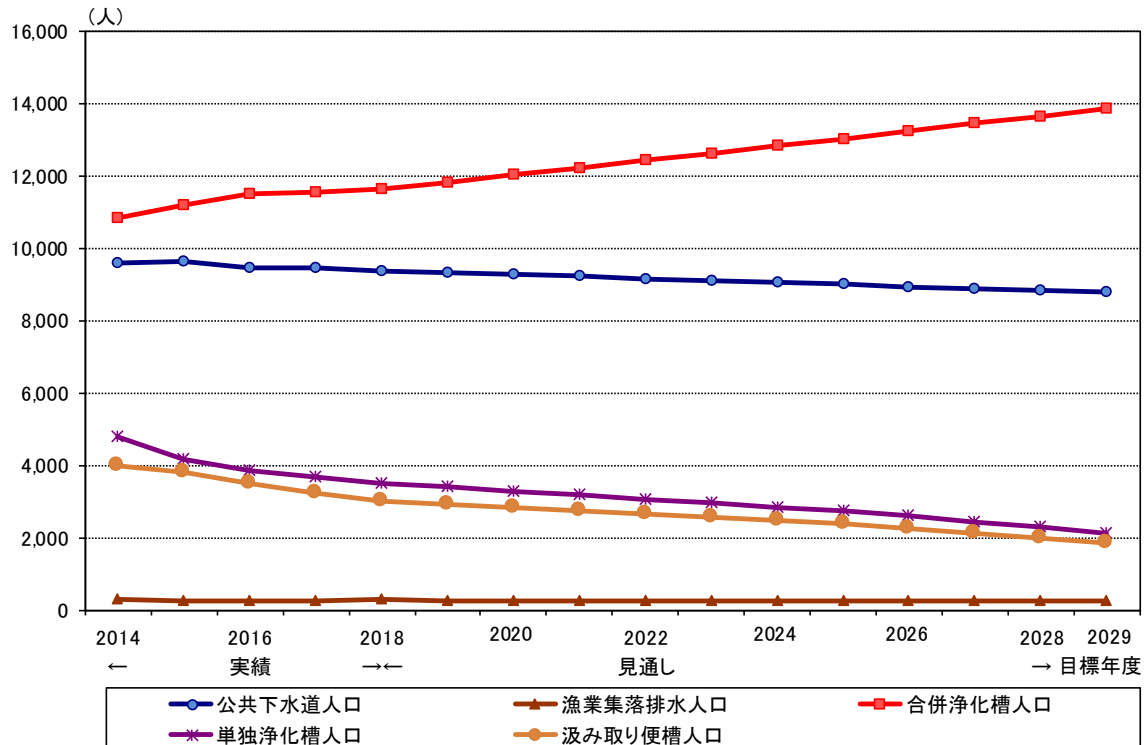
前述した内容を踏まえた本計画における生活排水処理人口の見込みを以下に示します。

今後、公共下水道や漁業集落排水処理施設等の整備・普及の推進、くみ取便槽及び単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換する施策の実施などを積極的に行うことにより、本計画目標年次である2029年度の汚水衛生処理率は85.2%になると推測されました。

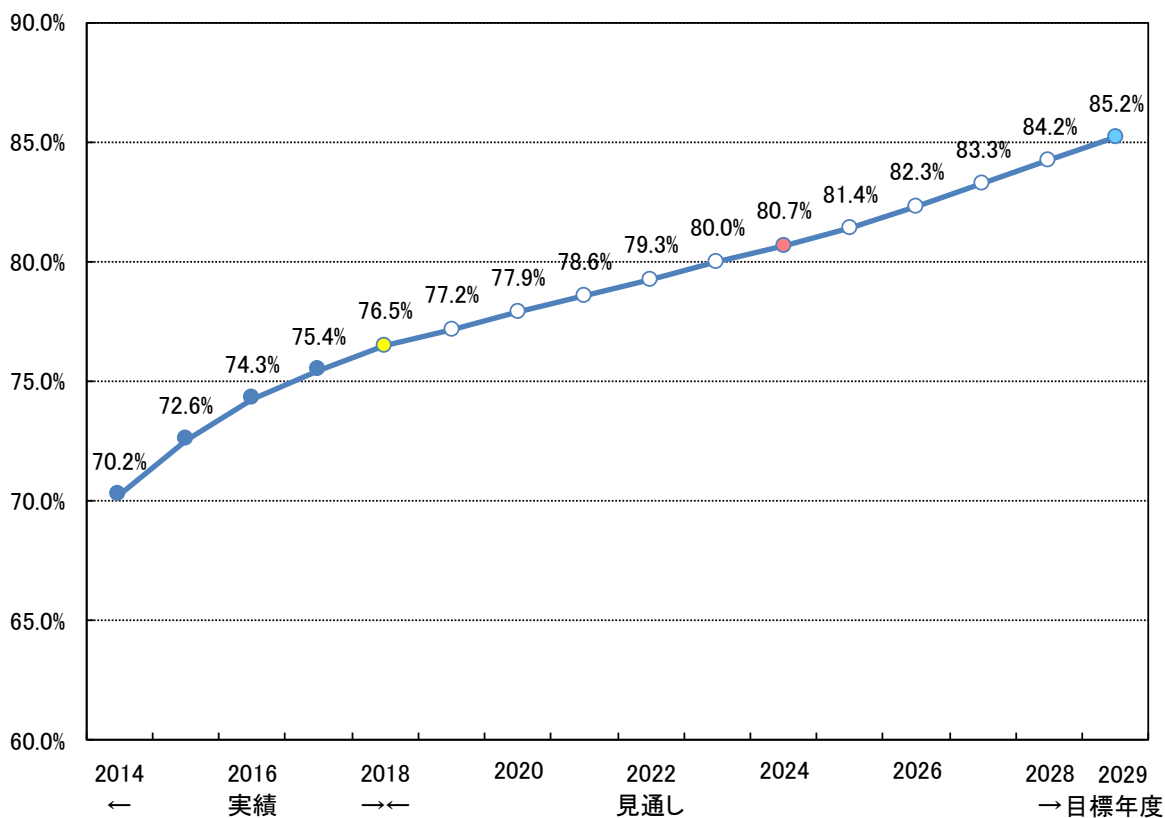
◆図表 6.3.3 生活排水処理形態別人口の実績及び予測結果

年 度			行政区域内 人 口	生活排水処理形態別人口					汚水衛生 処理率		
				公共下水道 人口	漁業集落 排水人口	合併浄化槽 人 口	単独浄化槽 人 口	自家処理 人 口		汲み取り便槽 人 口	
2014	H26	↑	29,470	9,593	277	10,829	4,785	0	3,986	70.2%	
2015	H27	実績	29,086	9,627	270	11,212	4,163	0	3,814	72.6%	
2016	H28		28,569	9,469	267	11,489	3,862	0	3,482	74.3%	
2017	H29		28,202	9,445	266	11,561	3,678	0	3,252	75.4%	
2018	H30		↓	27,833	9,391	272	11,632	3,507	0	3,031	76.5%
2019			↑	27,773	9,336	270	11,834	3,397	0	2,936	77.2%
2020		見 通 し	27,713	9,280	269	12,036	3,287	0	2,841	77.9%	
2021			27,653	9,225	267	12,238	3,177	0	2,746	78.6%	
2022			27,593	9,170	266	12,440	3,067	0	2,650	79.3%	
2023			27,533	9,114	264	12,642	2,957	0	2,556	80.0%	
2024			27,473	9,059	262	12,844	2,847	0	2,461	80.7%	
2025			27,415	9,004	261	13,046	2,738	0	2,366	81.4%	
2026			27,280	8,949	259	13,248	2,588	0	2,236	82.3%	
2027			27,145	8,893	257	13,450	2,438	0	2,107	83.3%	
2028			27,010	8,838	256	13,652	2,287	0	1,977	84.2%	
2029			↓	26,875	8,783	254	13,854	2,137	0	1,847	85.2%

◆図表 6.3.4 生活排水処理形態別人口の実績及び見通し



◆図表 6.3.5 汚水衛生処理率の推移



2 し尿及び浄化槽汚泥量の推計

(1) 設定方法

し尿及び浄化槽汚泥の発生量は、人口の変動の他、集合処理施設の整備、合併処理浄化槽の普及等の行政施策によって変動します。

ここでは、先に予測した生活排水処理形態別人口を基に設定し、将来のし尿及び浄化槽汚泥の発生量を設定するものとします。

(2) 発生原単位

「汚泥再生処理センター等整備の計画・設計要領 2006 改訂版」による発生原単位の参考値及び本市の過去3年間（2016～2017年度）のし尿及び浄化槽汚泥量（単独・合併処理浄化槽汚泥量の合計）の実績より算出した平均実績原単位等は、以下のとおりです。

なお、浄化槽汚泥は単独処理浄化槽汚泥及び合併処理浄化槽汚泥の区分は行っていないため、処理施設への搬入時にそれぞれの汚泥量を把握することは一般的に不可能であるため、単独及び合併処理浄化槽汚泥量の合計により発生原単位を算出するしかありません。

しかし、将来的には単独処理浄化槽は減少し、合併処理浄化槽が増加するものと考えられ、各処理形態の汚泥をあわせた排出原単位での考え方では、構成比率の変動に対応することが困難なため、各処理形態別の発生原単位を把握する必要があります。

このことから、参考値及び過去の実績を用い、次の手法により発生原単位を補正算出するものとします。

◆図表 6.3.6 1人1日平均排出量

項 目	本 市	参 考 値
し 尿	2.58 ℓ/人・日	2.26 ℓ/人・日
単独処理浄化槽汚泥	0.46 ℓ/人・日	1.11 ℓ/人・日
合併処理浄化槽汚泥	1.08 ℓ/人・日	2.61 ℓ/人・日
漁業集落排水汚泥	0.88 ℓ/人・日	—

浄化槽汚泥について、参考値に示した比率は変わらないものとして単独処理浄化槽汚泥 1.11χ (ℓ/人・日)、合併処理浄化槽汚泥 2.61χ (ℓ/人・日) とすると次の式が成立します。

$$\{1.11\chi \times \text{単独処理浄化槽人口} + 2.61\chi \times \text{合併処理浄化槽人口}\} \div 1,000 \times 365 \\ = \text{合併・単独処理浄化槽汚泥年間処理量 (kℓ/年)}$$

上記算出式から χ を算出し、本市における合併処理浄化槽、単独処理浄化槽別の発生原単位を求めた結果を次頁に示します。

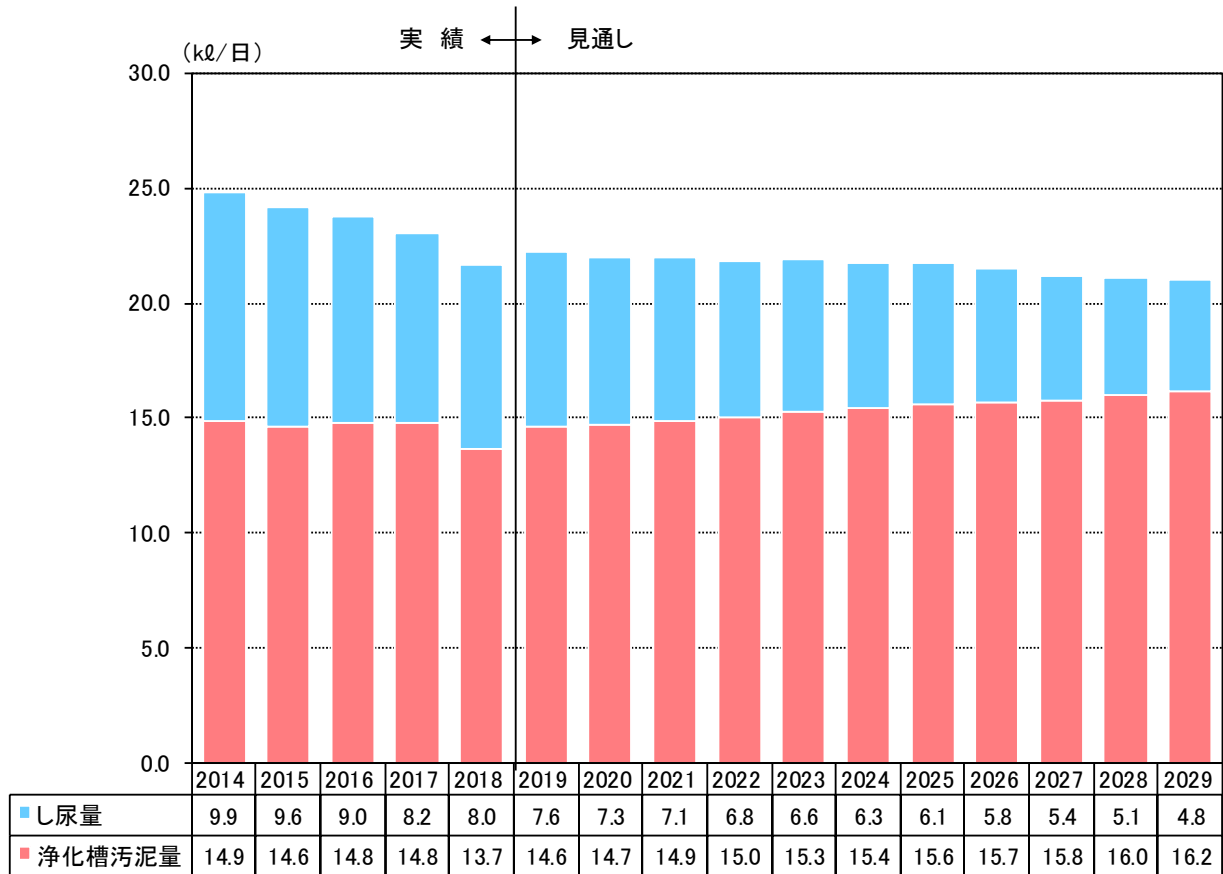
◆図表 6.3.7 発生原単位の設定

区分	年 度 別			平均実稼原単位及び月最大変動係数			参考値
	2016年度	2017年度	2018年度	3ヵ年平均			
くみ取り便槽入口	3,482	3,252	3,031	2.58 ℓ/人/日			2.26 ℓ/人/日
単独処理浄化槽入口	3,862	3,678	3,507	0.46 ℓ/人/日			1.11 ℓ/人/日
合併処理浄化槽入口	11,489	11,561	11,632	1.08 ℓ/人/日			2.61 ℓ/人/日
漁業落排水処理人口	267	266	272	0.88 ℓ/人/日			—
内 訳	シ 尿量 (kℓ/月)	浄化槽汚泥量 (kℓ/月)	浄化槽汚泥量 (kℓ/月)	シ 尿量 (kℓ/月)	浄化槽汚泥量 (kℓ/月)	浄化槽汚泥量 (kℓ/月)	月最大変動係数
4月	300.75	377.70	365.01	250.16	242.52	0.00	1.16
5月	284.04	315.20	317.18	260.52	285.12	0.00	—
6月	306.92	391.55	431.47	269.23	392.44	0.00	—
7月	284.08	351.80	416.50	241.80	445.02	0.00	—
8月	279.09	551.20	468.66	233.98	499.16	0.00	—
9月	242.15	430.80	342.47	219.62	363.48	42.20	—
10月	261.34	402.81	394.31	246.52	494.10	0.00	—
11月	252.18	572.07	490.30	239.62	457.20	0.00	—
12月	328.87	452.01	534.29	290.72	445.11	0.00	—
1月	220.28	526.32	594.44	202.60	436.65	0.00	—
2月	256.61	404.51	473.28	233.80	378.03	0.00	—
3月	257.40	543.15	541.15	225.77	475.61	43.00	—
計	3,273.71	5,319.12	5,309.06	2,914.34	4,914.44	85.20	—
1日平均収集量(計/365日)	8.97	14.53	14.55	7.98	13.46	0.23	—
1人1日平均排出量(シ尿)	2.58 ℓ/人/日	2.53 ℓ/人/日	2.63 ℓ/人/日	2.63 ℓ/人/日	2.63 ℓ/人/日	0.23 ℓ/人/日	—
〃 (単独処理浄化槽汚泥)	0.47 ℓ/人/日	0.47 ℓ/人/日	0.44 ℓ/人/日	0.44 ℓ/人/日	0.44 ℓ/人/日	0.44 ℓ/人/日	—
〃 (合併処理浄化槽汚泥)	1.10 ℓ/人/日	1.10 ℓ/人/日	1.03 ℓ/人/日	1.03 ℓ/人/日	1.03 ℓ/人/日	1.03 ℓ/人/日	—
〃 (漁業落排水汚泥)	0.89 ℓ/人/日	0.88 ℓ/人/日	0.86 ℓ/人/日	0.86 ℓ/人/日	0.86 ℓ/人/日	0.86 ℓ/人/日	—
月最大変動係数	1.17 (8月)	1.19 (12月)	1.11 (12月)	1.16	1.11	1.11	—
平均実稼原単位及び月最大変動係数算出根拠	$\begin{aligned} \text{シ 尿} &= \frac{2.58 + 2.53 + 2.63}{3} && \text{計画・設計要領による参考値} \\ &= \frac{2.58 \text{ ℓ/人/日}}{3} && \\ \text{単独処理浄化槽汚泥} &= \frac{0.47 + 0.47 + 0.44}{3} && \text{計画・設計要領による参考値} \\ &= \frac{0.46 \text{ ℓ/人/日}}{3} && \\ \text{合併処理浄化槽汚泥} &= \frac{1.10 + 1.10 + 1.03}{3} && \text{計画・設計要領による参考値} \\ &= \frac{1.08 \text{ ℓ/人/日}}{3} && \\ \text{漁業落排水汚泥} &= \frac{0.89 + 0.88 + 0.86}{3} && \\ &= \frac{0.88 \text{ ℓ/人/日}}{3} && \end{aligned}$						1.15
年度別実績	$\text{月最大変動係数} = \frac{1.17 + 1.19 + 1.11}{3} = 1.16$						計画・設計要領 (1.15)

(3) 目標年度のし尿・汚泥量

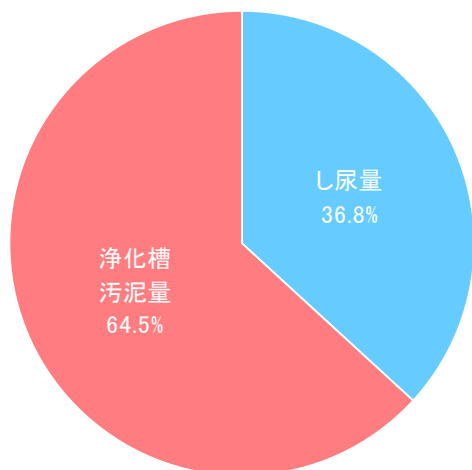
本市における将来のし尿及び汚泥量の発生量は、次のとおりです。また、目標年度（2029年度）においては、合併処理浄化槽の普及を促進することにより浄化槽汚泥量割合が74.5%という結果となっています。

◆図表 6.3.8 発生量の実績及び見通し

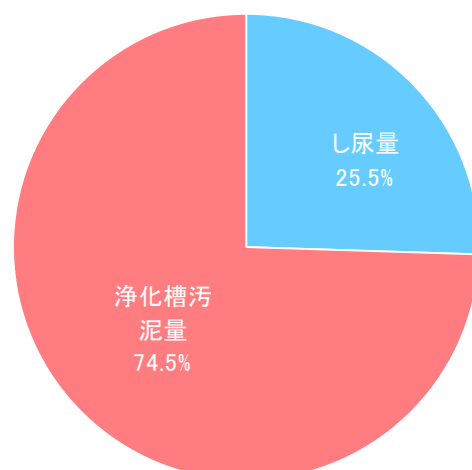


◆図表 6.3.9 処理内容内訳

2018年度における処理量内訳



目標年度(2029年度)における処理量内訳



◆図表 6.3.10 し尿・汚泥処理の実績及び見通し

区分	単位	年 度													目標年度		
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026		2027	2028
(1)行政区域内人口		29,470	29,086	28,569	28,202	27,833	27,773	27,713	27,653	27,593	27,533	27,473	27,415	27,280	27,145	27,010	26,875
(2)計画処理区域内人口		29,470	29,086	28,569	28,202	27,833	27,773	27,713	27,653	27,593	27,533	27,473	27,415	27,280	27,145	27,010	26,875
(3)くみ取り便槽人口		3,986	3,814	3,482	3,252	3,031	2,936	2,841	2,746	2,650	2,556	2,461	2,366	2,236	2,107	1,977	1,847
(4)公共下水道人口		9,593	9,627	9,469	9,445	9,391	9,336	9,280	9,225	9,170	9,114	9,059	9,004	8,949	8,893	8,838	8,783
(5)単独処理浄化槽人口		4,785	4,163	3,862	3,678	3,507	3,397	3,287	3,177	3,067	2,957	2,847	2,738	2,588	2,438	2,287	2,137
(6)合併処理浄化槽人口		10,829	11,212	11,489	11,561	11,632	11,834	12,036	12,238	12,440	12,642	12,844	13,046	13,248	13,450	13,652	13,854
(7)コミュニティプラント人口		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(8)農業集落排水施設人口		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)漁業集落排水施設人口		277	270	267	266	272	270	269	267	266	264	262	261	259	257	256	254
(10)自家処理人口		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11)し尿量		9.9	9.6	9.0	8.2	8.0	7.6	7.3	7.1	6.8	6.6	6.3	6.1	5.8	5.4	5.1	4.8
(12)単独処理浄化槽汚泥量		14.6	14.4	14.6	14.5	13.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0
(13)合併処理浄化槽汚泥量							12.8	13.0	13.2	13.4	13.7	13.9	14.1	14.3	14.5	14.7	15.0
(14)コミュニティプラント汚泥量		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(15)農業集落排水処理施設汚泥量		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(16)漁業集落排水処理施設汚泥量		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
(17)計【Σ(11)~(16)】		24.8	24.2	23.8	23.0	21.7	22.2	22.0	22.0	21.8	21.9	21.7	21.7	21.5	21.2	21.1	21.0

区分	計画1人1日 平均排出量 (ℓ/人・日)
(18)し尿量	2.58
(19)単独処理浄化槽汚泥量	0.46
(20)合併処理浄化槽汚泥量	1.08
(21)農業集落排水処理施設汚泥量	0.88

6-4 生活排水処理に関する目標の設定

本計画の生活排水処理に関する基本方針に基づき、公共下水道及び漁業集落排水処理施設整備計画区域内にあっては未接続世帯の接続を促進し、下水道整備計画区域外にあっては合併処理浄化槽の設置を促進することで、全市域において水洗化を進め、生活雑排水の未処理放流をなくしていきます。

ここで、生活排水の適正処理の進捗率を表す指標として、「汚水衛生処理率」を用い、計画目標年である2029年度の目標値を設定します。

2018年度の汚水衛生処理率76.4%に対して、計画目標年度である2029年度には8.7%増加の85.2%に達成させることを目指すものとします（図6.4.1参照）。

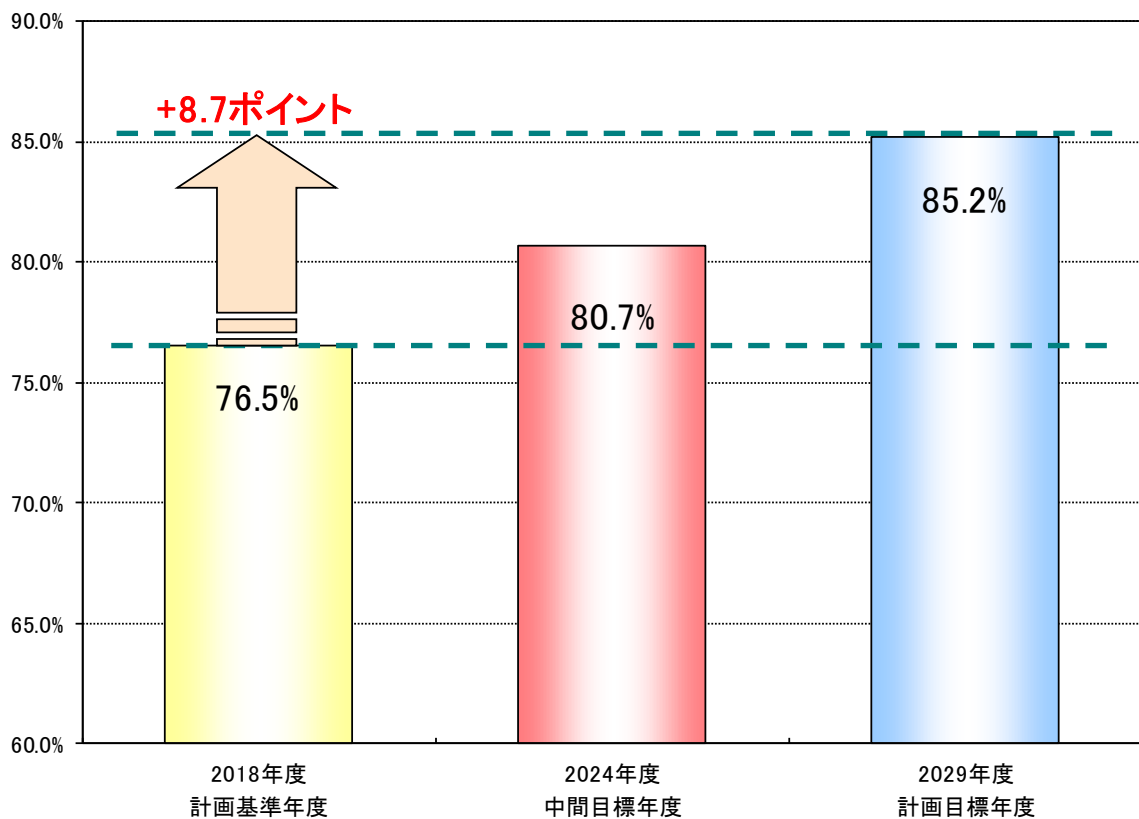
計画目標年度：2029年度

達成目標値

【汚水衛生処理率】

⇒ **85.2%まで引き上げ（平成30年度実績：76.5%）**

◆図表 6.4.1 達成目標



6-5 し尿及び浄化槽汚泥の処理計画

1 収集・運搬計画

し尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬計画では、以下の方針を実施していくものとします。

◆ 現行の収集・運搬体制を継続

(1) し尿の収集・運搬

し尿については、公共下水道等の普及により年々減少していますが、公共下水道等の普及にはある程度の期間が必要と考えられますので、継続して今後もし尿の収集・運搬が必要です。本市においては一部事務組合による定期的な収集を行っていますが、これを今後も引き続き行います。

さらに、今後、公共下水道などの普及によりし尿くみ取世帯が広範囲に点在する状況がますます進むことが見込まれますので、安定的・効率的な収集に努めます。

(2) 浄化槽汚泥の収集・運搬

浄化槽汚泥（合併処理・単独処理浄化槽汚泥）については、今後も継続して収集を行う必要があります。

現在、浄化槽汚泥の収集は一部事務組合が行っており、今後も一部事務組合による収集を継続しますが、し尿の収集状況と合わせて、串木野衛生センターに搬入される浄化槽汚泥量の平準化を図る必要があります。

また、合併処理浄化槽汚泥は増加傾向で、単独処理浄化槽汚泥は減少傾向にあると考えられ、この傾向は今後も進んでいくものと考えられます。

そのために収集される汚泥の質が変わっていく可能性がありますので、その影響について検討していく必要があります。

2 中間処理・最終処分計画

中間処理及び最終処分計画では、以下の方針を実施していくものとします。

- ◆ 現行の処理・処分を継続
- ◆ 施設の適切な維持管理を継続
- ◆ 施設の基幹的設備改良に向けた各種検討を推進

(1) 現行の処理・処分を継続

し尿及び浄化槽汚泥の中間処理については、串木野衛生センターにおいて適正に処理を行っていくものとし、発生するし渣及び汚泥等については現在同様、施設内で脱水後、焼却を行い、本市の最終処分場で埋立処理を行っていきます。

（2）施設の適切な維持管理を継続

施設の供用開始から 20 年が経過した串木野衛生センターは、今後老朽化が見込まれる又は進んでいる施設です。

そのため、今後も適切な維持管理を継続することはもとより、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」施行規則第 5 条に基づき実施する精密機能検査を継続して実施することにより、施設状況及び処理機能を把握した上で、適切な運転管理を行っていくものとします。

（3）施設の更新に向けた各種検討を推進

現在の処理量は、施設処理能力の範囲内であるため適正な処理が行えているものの、今後の合併処理浄化槽の普及による処理困難（さらなる浄化槽汚泥混入率の上昇）や施設自体の老朽化による処理能力の低下も予測されるため、将来的な対応を検討する必要があります。

また、串木野衛生センターは供用開始後 20 年を経過しており、一般的に施設が更新を迎える施設経過年数 30～34 年（昭和 62 年度から平成 21 年度の間に既存施設を更新した 491 件について、既存施設から新施設切り替えまでの経過年数を調べた結果、経過年数 30 年までに更新した場合が全体の約 80%、経過年数 34 年までに更新した場合が全体の 90%となっています。）までは概ね 10 年程度となっており、一般的に施設を更新するまで（用地取得～施設供用開始まで）の期間（最短でも 7 年程度）を踏まえると本計画期間内に更新に向けた検討が必要となります。さらに、更新に向けて検討している期間についてもし尿等は処理していかなければならないため、現在の施設における適正処理に向けた検討も必要となります。

よって、本市のし尿等の適正処理に当たっては、施設の更新に向けた検討と合わせて現施設の大規模補修に向けた検討を「廃棄物処理施設長寿命化計画作成の手引き」（環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課：平成 22 年 3 月策定）を参考にして進めていくものとします。

6-6 市民等に対する広報・啓発活動計画

1 市民・事業者に対する啓発活動

(1) 啓発活動

本市では、五反田川を初め数多くの河川が市内を流れていることから、生活排水の流入による河川の環境負荷を低減していく必要があります。

したがって、生活排水処理事業の重要性を、わかりやすく市民へ伝えることを目的とした啓発活動を推進していくものとします。



(2) 各種設備に関する啓発活動

公共下水道整備区域のうち供用開始区域においては、2018年度末実績で約91.5%が公共下水道へ接続しているため、今後も継続して市民・事業者へ啓発・指導を行い、公共下水道への接続を促していくものとします。

また、漁業集落排水処理施設整備区域のうち供用開始区域においては、2018年度末実績で約87.7%が漁業集落排水処理施設へ接続しているため、公共下水道と同様、今後も継続して市民・事業者へ啓発・指導を行い、漁業集落排水処理施設への接続を促していくものとします。

さらに、くみ取便槽及び単独処理浄化槽設置世帯については、合併処理浄化槽への転換を推進するものとし、今後も継続した市民・事業者へ啓発・指導を行うものとします。

あわせて、設置済み及び今後整備する合併処理浄化槽については、定期的な保守点検、清掃及び法定検査の実施の重要性を啓発・指導していくものとし、その徹底に努めるものとします。

2 地域に関する諸計画との関係

かごしま生活排水処理基本構想2019、いちき串木野市第2次総合計画及びいちき串木野市環境基本計画などを踏まえた上で、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理のための方策を講じていくものとします。

また、地域の開発計画等の策定にあたっては、一般廃棄物処理基本計画（生活排水編）に基づき合併処理浄化槽の設置や生活排水の適正処理を指導していく方針とします。あわせて、合併処理浄化槽の設置については、設置費の一部を助成する制度を継続します。

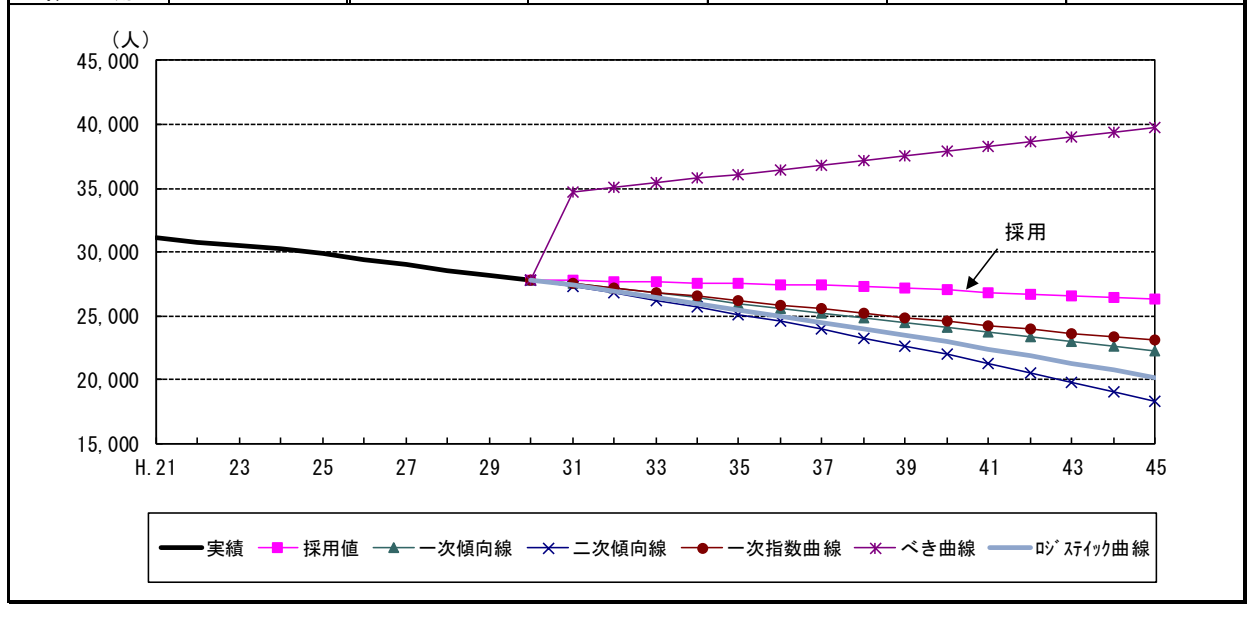
【 資 料 編 】

資料編 1 行政区域内人口及びごみ排出量の推計

◆図表 1-1 行政内区域人口の推計結果

(単位:人)

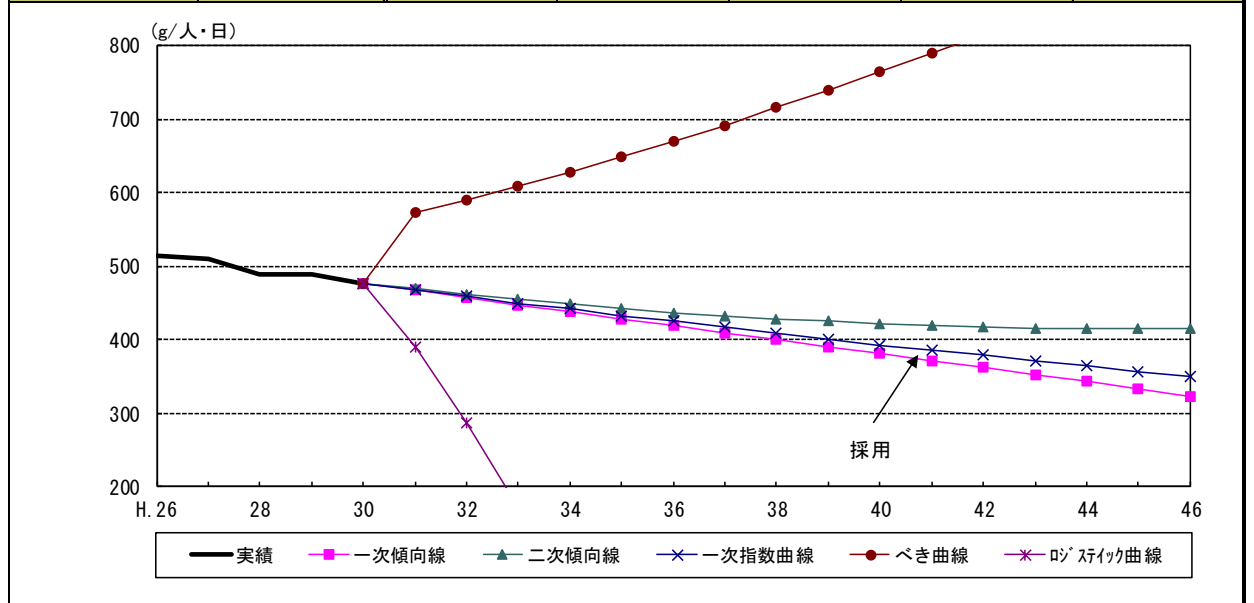
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数		増減数		増減数		増減数		増減数		増減数
平成 21	21	31,158	—										
22	22	30,778	-380										
23	23	30,536	-242										
24	24	30,288	-248										
25	25	29,908	-380										
26	26	29,470	-438	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	27	29,086	-384										
28	28	28,569	-517										
29	29	28,202	-367										
30	30	27,833	-369										
平均増減数		—	-369										
31	31	27,773	-60	27,522	-311	27,286	-547	27,567	-266	34,667	6,834	27,387	-446
32	32	27,713	-60	27,147	-375	26,782	-504	27,219	-348	35,029	362	26,938	-449
33	33	27,653	-60	26,772	-375	26,257	-525	26,876	-343	35,393	364	26,477	-461
34	34	27,593	-60	26,397	-375	25,711	-546	26,536	-340	35,757	364	26,004	-473
35	35	27,533	-60	26,023	-374	25,143	-568	26,201	-335	36,122	365	25,521	-483
36	36	27,473	-60	25,648	-375	24,553	-590	25,870	-331	36,489	367	25,027	-494
37	37	27,415	-58	25,273	-375	23,942	-611	25,544	-326	36,855	366	24,523	-504
38	38	27,280	-135	24,898	-375	23,310	-632	25,221	-323	37,223	368	24,010	-513
39	39	27,145	-135	24,523	-375	22,656	-654	24,903	-318	37,591	368	23,488	-522
40	40	27,010	-135	24,149	-374	21,981	-675	24,588	-315	37,960	369	22,958	-530
41	41	26,875	-135	23,774	-375	21,284	-697	24,278	-310	38,329	369	22,422	-536
42	42	26,741	-134	23,399	-375	20,566	-718	23,971	-307	38,699	370	21,879	-543
43	43	26,606	-135	23,024	-375	19,827	-739	23,669	-302	39,070	371	21,330	-549
44	44	26,471	-135	22,650	-374	19,065	-762	23,370	-299	39,441	371	20,778	-552
45	45	26,336	-135	22,275	-375	18,283	-782	23,075	-295	39,813	372	20,221	-557
46	46	26,201	-135	21,900	-375	17,479	-804	22,783	-292	40,185	372	19,663	-558
平均増減数		—	-100	—	-371	—	-637	—	-317	—	799	—	-507
算 定 根 拠	推計式	Yt=a+b*t		Yt=a+b*t+c*t^2		Yt=a+b^t		Yt=Yo+a*(t-to)^b		Yt=K/(1+EXP(a-b*t))			
	a	39,139.3		32,249.9		40,876.3		326.6		—		-2.8	
	b	-374.8		172.5		1.0		1.0		—		-0.060	
	c	—		-10.7		—		—		—		—	
	Yo	—		—		—		31,158.0		—		—	
	to	—		—		—		21.0		—		—	
	K	—		—		—		—		37,570.0		—	
採 用	r	0.996125		0.998741		0.994840		-0.996934		—		0.998325	
	—	—		—		—		—		—		—	



◆図表 1-2 収集ごみ（可燃ごみ）の推計結果

(単位:g/人・日)

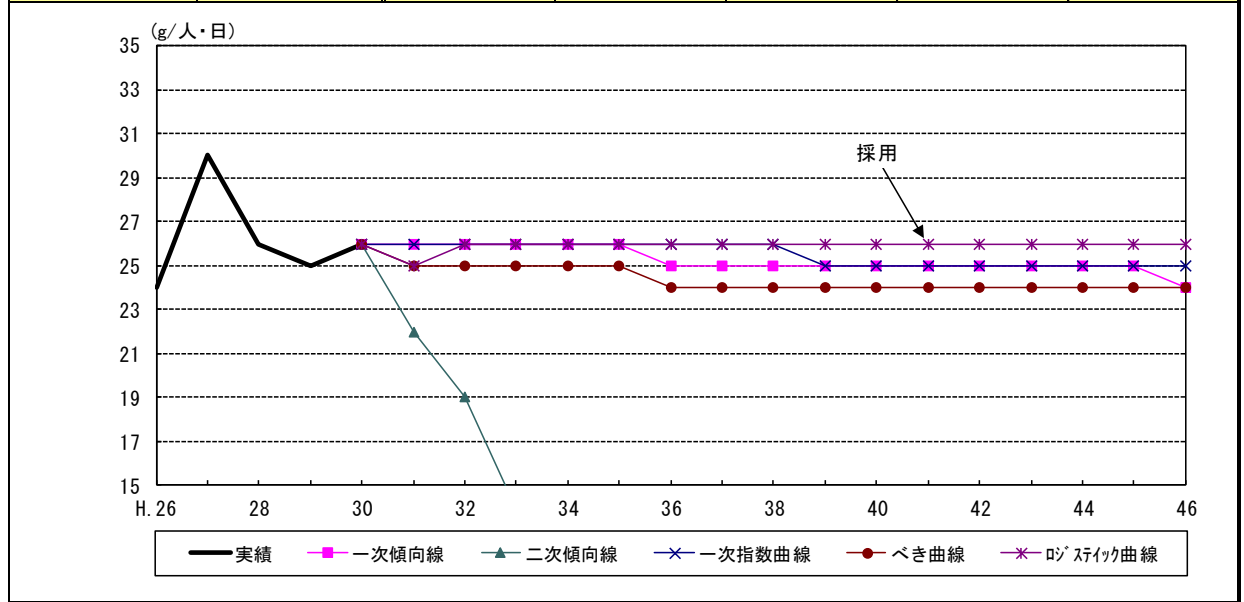
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	515	-										
27	27	510	-5										
28	28	490	-20										
29	29	490	0										
30	30	477	-13										
平均増減数		-	-10										
31	31	467	-10	468	-9	470	-7	468	-9	573	96	391	-86
32	32	458	-10	458	-10	462	-8	459	-9	591	18	288	-103
33	33	448	-10	448	-10	455	-7	450	-9	609	18	174	-114
34	34	439	-10	439	-9	449	-6	442	-8	628	19	88	-86
35	35	429	-10	429	-10	443	-6	433	-9	649	21	40	-48
36	36	420	-10	420	-9	437	-6	425	-8	670	21	17	-23
37	37	410	-10	410	-10	433	-4	417	-8	692	22	7	-10
38	38	401	-10	400	-10	428	-5	409	-8	716	24	3	-4
39	39	391	-10	391	-9	425	-3	401	-8	739	23	1	-2
40	40	382	-10	381	-10	422	-3	393	-8	764	25	0	-1
41	41	372	-10	372	-9	419	-3	386	-7	790	26	0	0
42	42	362	-10	362	-10	417	-2	379	-7	816	26	0	0
43	43	353	-10	352	-10	416	-1	371	-8	843	27	0	0
44	44	343	-10	343	-9	415	-1	364	-7	870	27	0	0
45	45	334	-10	333	-10	415	0	357	-7	898	28	0	0
46	46	324	-10	324	-9	416	1	350	-7	927	29	0	0
平均増減数		-	-10	-	-10	-	-4	-	-8	-	28	-	-32
算 定 根 拠	推計式		$Y_t = a + b \cdot t$		$Y_t = a + b \cdot t + c \cdot t^2$		$Y_t = a + b \cdot t$		$Y_t = Y_0 + a \cdot (t - t_0)^b$		$Y_t = K / (1 + \text{EXP}(a - b \cdot t))$		
	a		765.2		988.6		852.6		6.1		-29.3		
	b		-9.6		-25.6		1.0		1.4		-0.908		
	c				0.3								
	Y ₀								515.0				
	t ₀								26.0				
	K										515.0		
r				0.965436		0.966531		0.961257		-0.952618		0.868023	
採用		-		◎		-		-		-		-	



◆図表 1-3 収集ごみ（不燃ごみ）の推計結果

(単位:g/人・日)

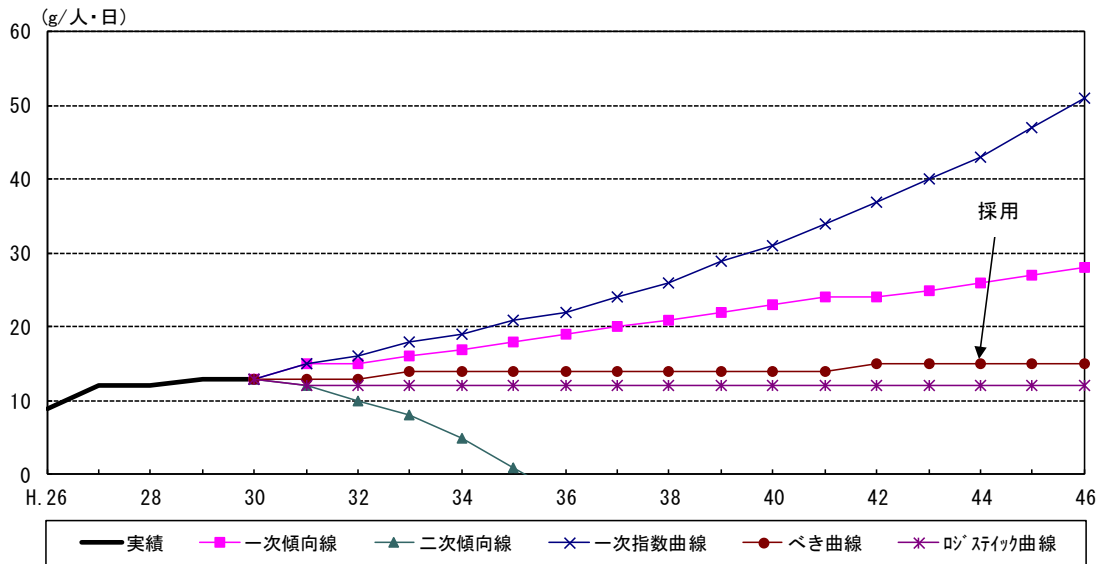
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	24	-										
27	27	30	6										
28	28	26	-4										
29	29	25	-1										
30	30	26	1										
平均増減数		-	1										
31	31	26	0	26	0	22	-4	26	0	25	-1	25	-1
32	32	26	0	26	0	19	-3	26	0	25	0	26	1
33	33	26	0	26	0	14	-5	26	0	25	0	26	0
34	34	26	0	26	0	9	-5	26	0	25	0	26	0
35	35	26	0	26	0	2	-7	26	0	25	0	26	0
36	36	26	0	25	-1	-6	-8	26	0	24	-1	26	0
37	37	26	0	25	0	-14	-8	26	0	24	0	26	0
38	38	26	0	25	0	-24	-10	26	0	24	0	26	0
39	39	26	0	25	0	-34	-10	25	-1	24	0	26	0
40	40	26	0	25	0	-46	-12	25	0	24	0	26	0
41	41	26	0	25	0	-59	-13	25	0	24	0	26	0
42	42	26	0	25	0	-72	-13	25	0	24	0	26	0
43	43	26	0	25	0	-87	-15	25	0	24	0	26	0
44	44	26	0	25	0	-102	-15	25	0	24	0	26	0
45	45	26	0	25	0	-119	-17	25	0	24	0	26	0
46	46	26	0	24	-1	-137	-18	25	0	24	0	26	0
平均増減数		-	0	-	-0	-	-10	-	-0	-	-0	-	0
算 定 根 拠	採用式	$Y_t=a+b*t$		$Y_t=a+b*t+c*t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Yo+a*(t-to)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(a-b*t))$			
	a	29.0		-362.0		27.8		4.9		4.9			
	b	-0.1		27.9		1.0		-1.0		0.275			
	c			-0.5									
	Yo							24.0					
	to							26.0					
	K									26.0			
r			0.288278								0.310087		
採用	-		-		-		-		-		◎		



◆図表 1-4 収集ごみ（粗大ごみ）の推計結果

(単位:g/人・日)

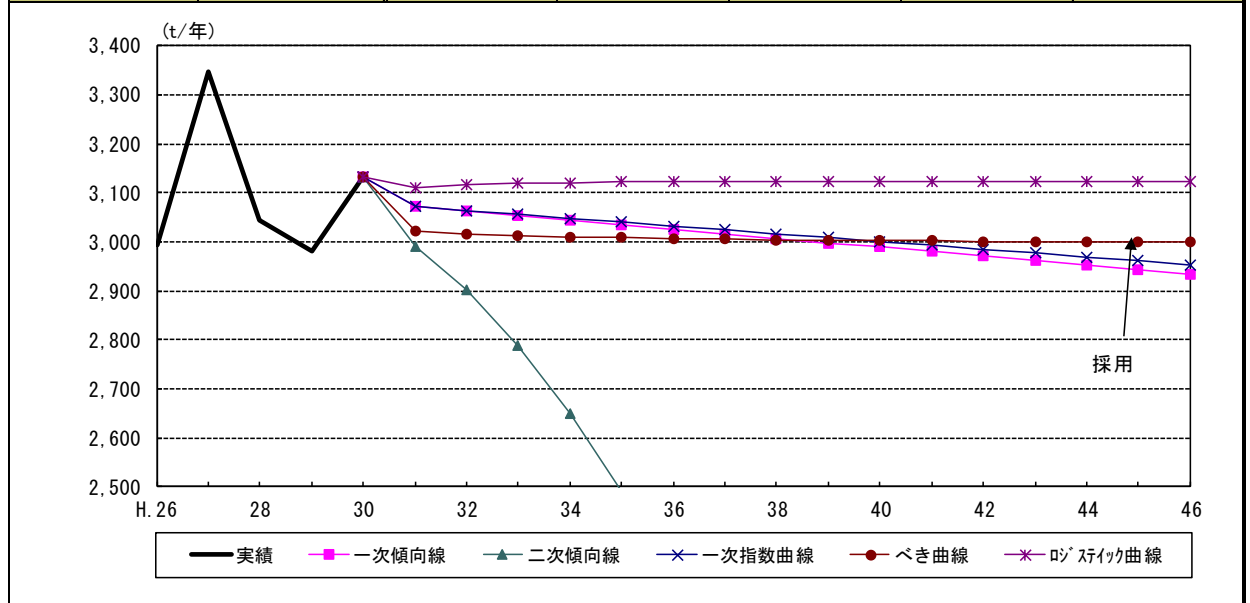
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	9	-										
27	27	12	3										
28	28	12	0										
29	29	13	1										
30	30	13	0										
平均増減数		-	1										
31	31	13	0	15	2	12	-1	15	2	13	0	12	-1
32	32	13	0	15	0	10	-2	16	1	13	0	12	0
33	33	13	0	16	1	8	-2	18	2	14	1	12	0
34	34	13	0	17	1	5	-3	19	1	14	0	12	0
35	35	13	0	18	1	1	-4	21	2	14	0	12	0
36	36	14	0	19	1	-3	-4	22	1	14	0	12	0
37	37	14	0	20	1	-8	-5	24	2	14	0	12	0
38	38	14	0	21	1	-14	-6	26	2	14	0	12	0
39	39	14	0	22	1	-21	-7	29	3	14	0	12	0
40	40	14	0	23	1	-28	-7	31	2	14	0	12	0
41	41	14	0	24	1	-36	-8	34	3	14	0	12	0
42	42	14	0	24	0	-45	-9	37	3	15	1	12	0
43	43	14	0	25	1	-54	-9	40	3	15	0	12	0
44	44	14	0	26	1	-65	-11	43	3	15	0	12	0
45	45	14	0	27	1	-75	-10	47	4	15	0	12	0
46	46	14	0	28	1	-87	-12	51	4	15	0	12	0
平均増減数		-	0	-	1	-	-6	-	2	-	0	-	-0
算 定 根 拠	推計式		$Y_t=a+b*t$		$Y_t=a+b*t+c*t^2$		$Y_t=a+b*t$		$Y_t=Yo+a*(t-to)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(a-b*t))$		
	a		-13.4		-292.7		1.2		2.9		6.2		
	b		0.9		20.9		1.1		0.2		0.301		
	c				-0.4								
	Yo								9.0				
	to								26.0				
	K										12.0		
r		0.723478		0.943023		0.866025		0.956858		0.666667			
採用		-		-		-		◎		-			



◆図表 1-5 直接搬入ごみ（可燃ごみ）の推計結果

(単位:t/年)

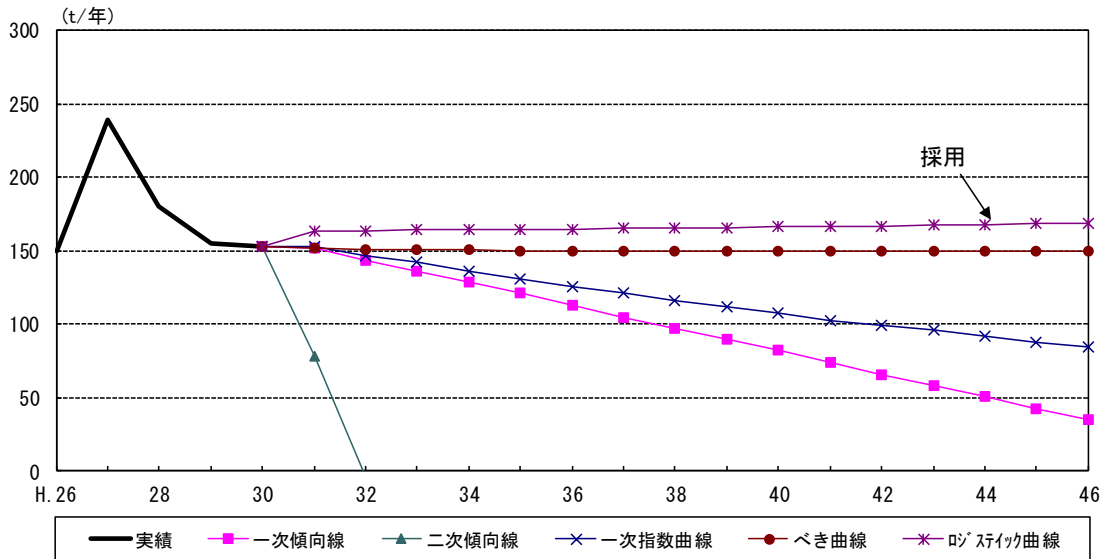
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	2,995	-										
27	27	3,346	351										
28	28	3,043	-303										
29	29	2,982	-61										
30	30	3,131	149										
平均増減数		-	34										
31	31	3,119	-12	3,072	-59	2,991	-140	3,072	-59	3,022	-109	3,110	-21
32	32	3,108	-12	3,063	-9	2,901	-90	3,064	-8	3,016	-6	3,116	6
33	33	3,096	-12	3,053	-10	2,787	-114	3,056	-8	3,012	-4	3,119	3
34	34	3,084	-12	3,044	-9	2,651	-136	3,048	-8	3,010	-2	3,121	2
35	35	3,072	-12	3,035	-9	2,491	-160	3,040	-8	3,008	-2	3,122	1
36	36	3,061	-12	3,026	-9	2,308	-183	3,032	-8	3,006	-2	3,122	0
37	37	3,049	-12	3,017	-9	2,102	-206	3,024	-8	3,005	-1	3,123	1
38	38	3,037	-12	3,007	-10	1,873	-229	3,016	-8	3,004	-1	3,123	0
39	39	3,025	-12	2,998	-9	1,621	-252	3,008	-8	3,003	-1	3,123	0
40	40	3,014	-12	2,989	-9	1,346	-275	3,000	-8	3,002	-1	3,123	0
41	41	3,002	-12	2,980	-9	1,047	-299	2,992	-8	3,002	0	3,123	0
42	42	2,990	-12	2,971	-9	726	-321	2,984	-8	3,001	-1	3,123	0
43	43	2,979	-12	2,961	-10	381	-345	2,977	-7	3,001	0	3,123	0
44	44	2,967	-12	2,952	-9	13	-368	2,969	-8	3,000	-1	3,123	0
45	45	2,955	-12	2,943	-9	-378	-391	2,961	-8	3,000	0	3,123	0
46	46	2,943	-12	2,934	-9	-792	-414	2,953	-8	3,000	0	3,123	0
平均増減数		-	-12	-	-13	-	-234	-	-11	-	-9	-	-1
算 定 根 拠	推計式		$Y_t=a+b*t$		$Y_t=a+b*t+c*t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Yo+a*(t-to)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(a-b*t))$		
	a		3,357.0		-5,691.9		3,333.7		200.4		13.0		
	b		-9.2		638.8		1.0		-1.3		0.598		
	c				-11.6								
	Yo								2,995.0				
	to								26.0				
	K										3,123.0		
r		0.097153		0.180520		0.097153		-		0.001029			
採用		-		-		-		-		◎		-	



◆図表 1-6 直接搬入ごみ（不燃ごみ）の推計結果

(単位:t/年)

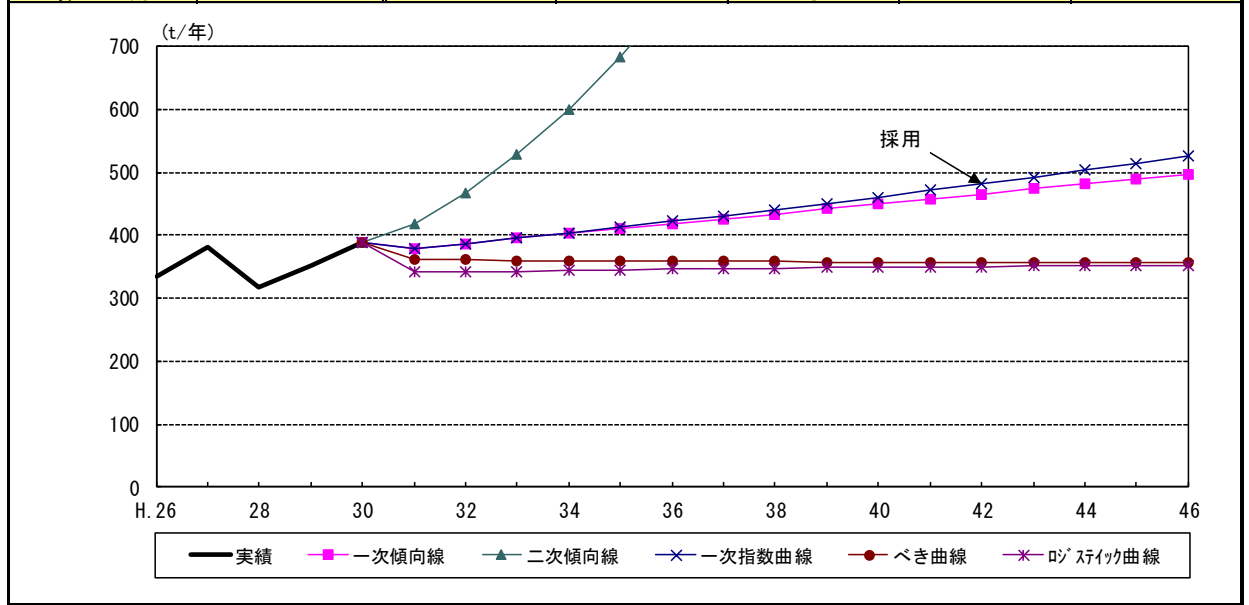
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	150	-										
27	27	239	89										
28	28	180	-59										
29	29	155	-25										
30	30	153	-2										
平均増減数		-	1										
31	31	154	1	152	-1	78	-75	153	0	152	-1	163	10
32	32	156	1	144	-8	-4	-82	147	-6	151	-1	163	0
33	33	157	1	136	-8	-107	-103	142	-5	151	0	164	1
34	34	158	1	129	-7	-231	-124	136	-6	151	0	164	0
35	35	159	1	121	-8	-376	-145	131	-5	150	-1	165	1
36	36	161	1	113	-8	-542	-166	126	-5	150	0	165	0
37	37	162	1	105	-8	-730	-188	121	-5	150	0	166	1
38	38	163	1	97	-8	-939	-209	116	-5	150	0	166	0
39	39	164	1	90	-7	-1,168	-229	112	-4	150	0	166	0
40	40	166	1	82	-8	-1,419	-251	108	-4	150	0	167	1
41	41	167	1	74	-8	-1,691	-272	103	-5	150	0	167	0
42	42	168	1	66	-8	-1,985	-294	99	-4	150	0	167	0
43	43	170	1	58	-8	-2,299	-314	96	-3	150	0	168	1
44	44	171	1	51	-7	-2,635	-336	92	-4	150	0	168	0
45	45	172	1	43	-8	-2,991	-356	88	-4	150	0	169	1
46	46	173	1	35	-8	-3,369	-378	85	-3	150	0	169	0
平均増減数		-	1	-7	-	-210	-	-4	-	-0	-	-	1
算 定 根 拠	推計式		$Y_t = a + b \cdot t$		$Y_t = a + b \cdot t + c \cdot t^2$		$Y_t = a + b \cdot t^t$		$Y_t = Y_0 + a \cdot (t - t_0)^b$		$Y_t = K / (1 + \text{EXP}(a - b \cdot t))$		
	a		393.8		-7,873.1		519.3		107.8		-1.2		
	b		-7.8		584.2		1.0		-2.6		0.021		
	c				-10.6								
	Y_0								150.0				
	t_0								26.0				
	K										188.0		
r			0.328754		0.617168		0.324399		-		-0.138595		
採用		-		-		-		-		-		◎	



◆図表 1-7 直接搬入ごみ（粗大ごみ）の推計結果

(単位:t/年)

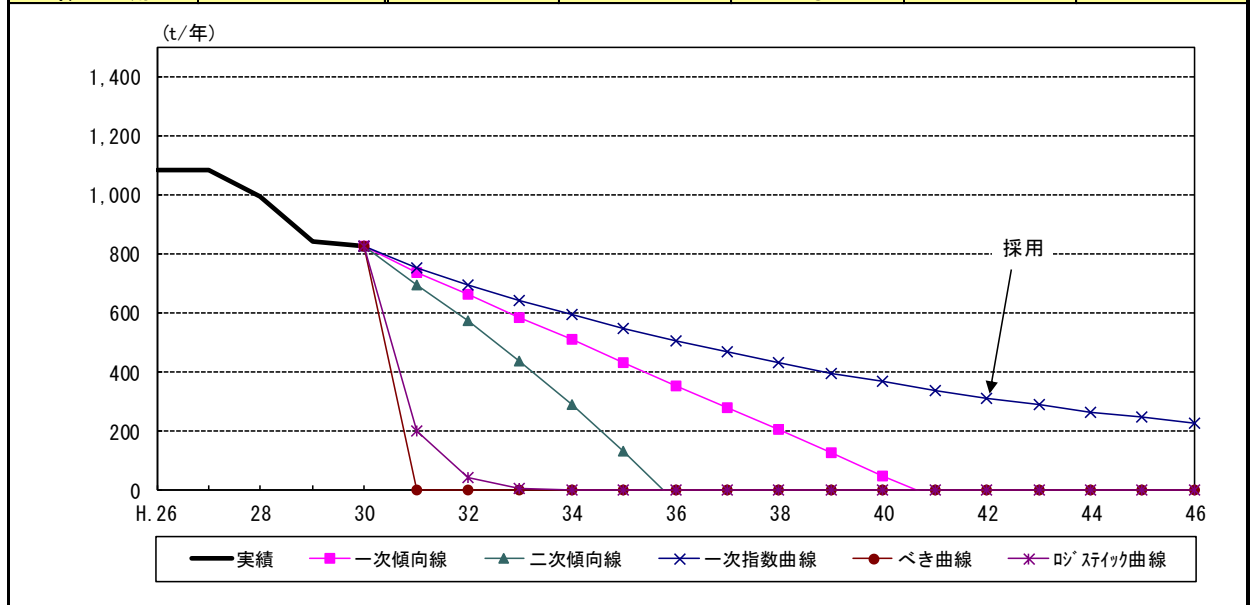
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	335	-										
27	27	382	47										
28	28	318	-64										
29	29	351	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	30	390	39										
平均増減数		-	14										
31	31	397	7	379	-11	419	29	378	-12	361	-29	341	-49
32	32	405	7	387	8	468	49	387	9	361	0	342	1
33	33	412	7	395	8	528	60	395	8	360	-1	343	1
34	34	419	7	403	8	599	71	404	9	360	0	344	1
35	35	427	7	411	8	682	83	413	9	359	-1	345	1
36	36	434	7	418	7	777	95	422	9	359	0	346	1
37	37	442	7	426	8	883	106	431	9	359	0	347	1
38	38	449	7	434	8	1,001	118	441	10	359	0	348	1
39	39	456	7	442	8	1,131	130	451	10	358	-1	349	1
40	40	464	7	450	8	1,272	141	461	10	358	0	349	0
41	41	471	7	458	8	1,424	152	471	10	358	0	350	1
42	42	478	7	466	8	1,588	164	481	10	358	0	350	0
43	43	486	7	474	8	1,764	176	492	11	358	0	351	1
44	44	493	7	482	8	1,951	187	503	11	357	-1	351	0
45	45	500	7	490	8	2,150	199	514	11	357	0	352	1
46	46	508	7	497	7	2,360	210	526	12	357	0	352	0
平均増減数		-	7	-	7	-	117	-	8	-	-2	-	-3
算 定 根 拠	推計式		$Y_t=a+b*t$		$Y_t=a+b*t+c*t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Yo+a*(t-to)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(a-b*t))$		
	a		134.0		4,658.4		191.6		31.9		-0.3		
	b		7.9		-316.1		1.0		-0.1		0.090		
	c				5.8								
	Yo								335.0				
	to								26.0				
	K										356.0		
r		0.408565		0.544784		0.408565		-		0.330358			
採用		-		-		-		◎		-		-	



◆図表 1-8 資源物の推計結果

(単位:t/年)

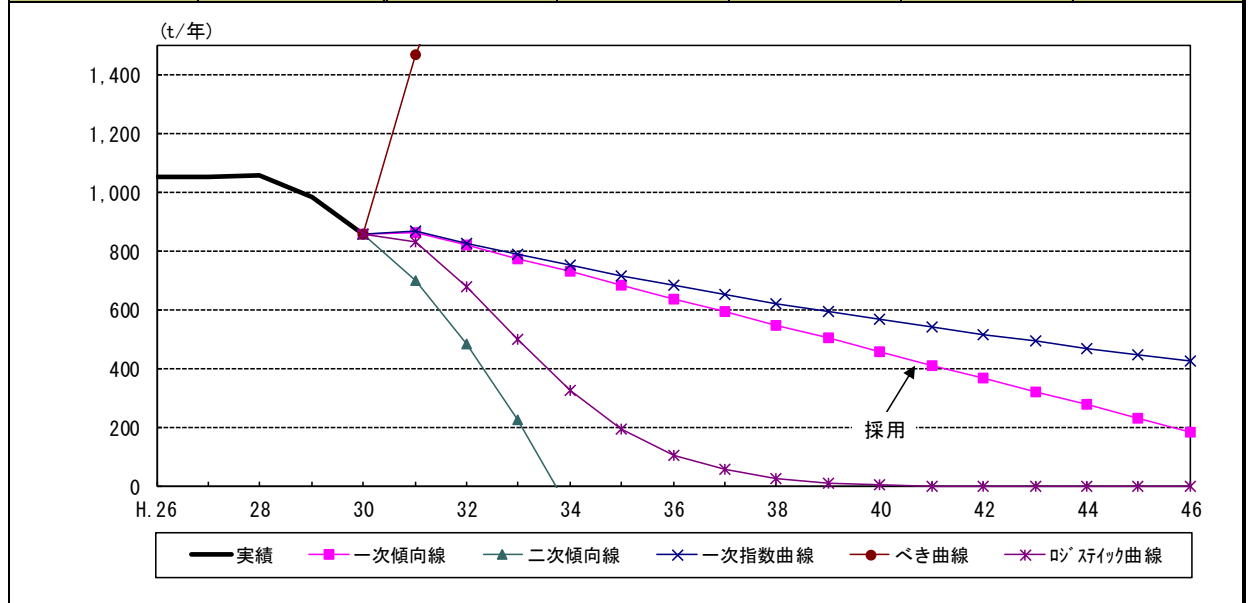
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	1,087	-										
27	27	1,087	0										
28	28	995	-92										
29	29	842	-153										
30	30	828	-14										
平均増減数		-	-65										
31	31	784	-44	739	-89	694	-134	756	-72	#NUM!	#NUM!	203	-625
32	32	739	-44	663	-76	574	-120	698	-58	#NUM!	#NUM!	42	-161
33	33	695	-44	586	-77	440	-134	644	-54	#NUM!	#NUM!	8	-34
34	34	651	-44	510	-76	294	-146	595	-49	#NUM!	#NUM!	1	-7
35	35	606	-44	434	-76	135	-159	549	-46	#NUM!	#NUM!	0	-1
36	36	562	-44	357	-77	-37	-172	507	-42	#NUM!	#NUM!	0	0
37	37	517	-44	281	-76	-221	-184	468	-39	#NUM!	#NUM!	0	0
38	38	473	-44	205	-76	-418	-197	432	-36	#NUM!	#NUM!	0	0
39	39	429	-44	129	-76	-628	-210	399	-33	#NUM!	#NUM!	0	0
40	40	384	-44	52	-77	-851	-223	368	-31	#NUM!	#NUM!	0	0
41	41	340	-44	-24	-76	-1,086	-235	340	-28	#NUM!	#NUM!	0	0
42	42	296	-44	-100	-76	-1,334	-248	314	-26	#NUM!	#NUM!	0	0
43	43	251	-44	-177	-77	-1,594	-260	290	-24	#NUM!	#NUM!	0	0
44	44	207	-44	-253	-76	-1,868	-274	267	-23	#NUM!	#NUM!	0	0
45	45	163	-44	-329	-76	-2,154	-286	247	-20	#NUM!	#NUM!	0	0
46	46	118	-44	-406	-77	-2,453	-299	228	-19	#NUM!	#NUM!	0	0
平均増減数		-	-44	-	-77	-	-199	-	-39	-	#NUM!	-	-55
算 定 根 拠	推計式		$Y_t = a + b * t$		$Y_t = a + b * t + c * t^2$		$Y_t = a + b * t$		$Y_t = Y_0 + a * (t - t_0)^b$		$Y_t = K / (1 + \text{EXP}(a - b * t))$		
	a		3,104.2		-1,867.1		9,020.1		#NUM!		-52.5		
	b		-76.3		279.7		0.9		#NUM!		-1,741		
	c				-6.4								
	Y ₀								1,087.0				
	t ₀								26.0				
	K										1,087.0		
r				0.950001		0.954867		0.944431				0.795258	
採用								◎					



◆図表 1-8 廃品回収の推計結果

(単位:t/年)

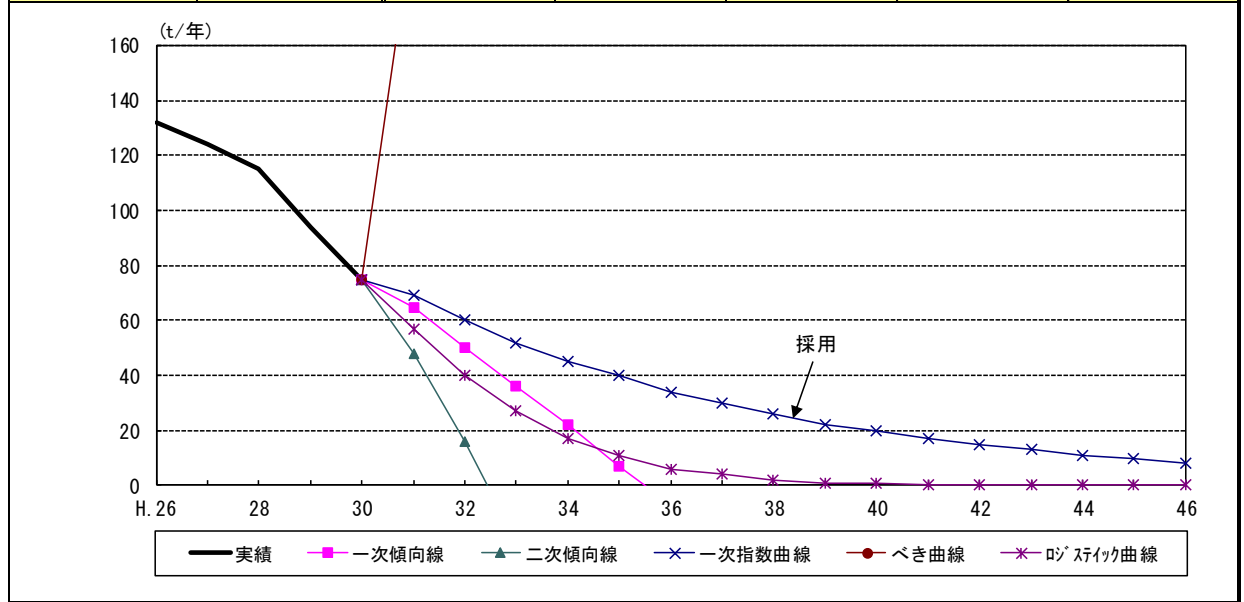
年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	1,053	-										
27	27	1,054	1										
28	28	1,061	7										
29	29	986	-75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	30	861	-125										
平均増減数		-	-48										
31	31	820	-41	867	6	700	-161	869	8	1,467	606	832	-29
32	32	780	-41	822	-45	488	-212	829	-40	1,890	423	682	-150
33	33	739	-41	777	-45	228	-260	791	-38	2,569	679	503	-179
34	34	699	-41	732	-45	-79	-307	755	-36	3,589	1,020	330	-173
35	35	658	-41	687	-45	-435	-356	720	-35	5,046	1,457	197	-133
36	36	618	-41	641	-46	-838	-403	687	-33	7,046	2,000	109	-88
37	37	577	-41	596	-45	-1,289	-451	655	-32	9,707	2,661	58	-51
38	38	537	-41	551	-45	-1,787	-498	625	-30	13,155	3,448	30	-28
39	39	496	-41	506	-45	-2,333	-546	597	-28	17,529	4,374	15	-15
40	40	456	-41	461	-45	-2,927	-594	569	-28	22,976	5,447	8	-7
41	41	415	-41	415	-46	-3,569	-642	543	-26	29,655	6,679	4	-4
42	42	374	-41	370	-45	-4,258	-689	518	-25	37,734	8,079	2	-2
43	43	334	-41	325	-45	-4,995	-737	495	-23	47,390	9,656	1	-1
44	44	293	-41	280	-45	-5,780	-785	472	-23	58,811	11,421	1	0
45	45	253	-41	235	-45	-6,612	-832	450	-22	72,194	13,383	0	-1
46	46	212	-41	189	-46	-7,493	-881	430	-20	87,747	15,553	0	0
平均増減数		-	-41	-	-42	-	-498	-	-27	-	4,756	-	-57
算 定 根 拠	推計式		$Y_t=a+b*t$		$Y_t=a+b*t+c*t^2$		$Y_t=a+b^t$		$Y_t=Yo+a*(t-to)^b$		$Y_t=K/(1+EXP(a-b*t))$		
	a		2,268.6		-16,387.7		3,720.9		0.8		-22.5		
	b		-45.2		1,290.8		1.0		3.9		-0.685		
	c				-23.9								
	Yo								1,053.0				
	to								26.0				
	K										1,072.0		
r				0.841487		0.990602		0.824364		-0.993540		0.966899	
採用		-		◎		-		-		-		-	



◆図表 1-9 新聞回収の推計結果

(単位:t/年)

年度	t	採用値		一次傾向線		二次傾向線		一次指数曲線		べき曲線		ロジスティック曲線	
		(補正值)	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数	増減数		
平成 26	26	132	—										
27	27	124	-8										
28	28	115	-9										
29	29	94	-21										
30	30	75	-19										
平均増減数		—	-14										
31	31	70	-5	65	-10	48	-27	69	-6	207	132	57	-18
32	32	64	-5	50	-15	16	-32	60	-9	230	23	40	-17
33	33	59	-5	36	-14	-20	-36	52	-8	254	24	27	-13
34	34	54	-5	22	-14	-61	-41	45	-7	280	26	17	-10
35	35	49	-5	7	-15	-107	-46	40	-5	307	27	11	-6
36	36	43	-5	-7	-14	-158	-51	34	-6	336	29	6	-5
37	37	38	-5	-22	-15	-213	-55	30	-4	366	30	4	-2
38	38	33	-5	-36	-14	-274	-61	26	-4	397	31	2	-2
39	39	28	-5	-50	-14	-339	-65	22	-4	429	32	1	-1
40	40	22	-5	-65	-15	-410	-71	20	-2	463	34	1	0
41	41	17	-5	-79	-14	-485	-75	17	-3	497	34	0	-1
42	42	12	-5	-94	-15	-565	-80	15	-2	533	36	0	0
43	43	6	-5	-108	-14	-650	-85	13	-2	569	36	0	0
44	44	1	-5	-122	-14	-739	-89	11	-2	607	38	0	0
45	45	-4	-5	-137	-15	-834	-95	10	-1	645	38	0	0
46	46	-9	-5	-151	-14	-933	-99	8	-2	684	39	0	0
平均増減数		—	-5	—	-14	—	-63	—	-4	—	38	—	-5
算 定 根 拠	採用式	Yt=a+b*t		Yt=a+b*t+c*t^2		Yt=a+b^t		Yt=Yo+a*(t-to)^b		Yt=K/(1+EXP(a-b*t))			
	a	511.2		-1,387.9		5,448.4		7.4		-15.8			
	b	-14.4		121.6		0.9		1.4		-0.525			
	c			-2.4									
	Yo							132.0					
	to							26.0					
	K									148.0			
r	0.980172		0.997027		0.957289		-0.996574		0.996652				
採用	—		—		—		◎		—		—		



◆図表 2-1 ごみ分別一覧(ごみの正しい分け方・出し方)①

ごみの正しい分け方・出し方

	ごみの種類	ごみの例	備 考
収集場所に 出せるごみ	燃えるごみ ※指定ごみ袋	台所ごみ、衣類、毛布(袋に入る大きさ)、灰、くつ、かばん類、アルミホイル、ラップ、音楽テープ、ビデオテープ、紙おむつ等	生ごみは、透明の袋か水切り袋に入れてから指定ごみ袋に入れて構いません。(水切りはしっかりと)中袋に中身が見えない袋は利用できません。
	燃えないごみ (燃やさないごみ) ※指定ごみ袋	陶器類、ガラス類(紙等で包んでよいが袋にガラスと書く。)、金属類 ※傘は袋に入れないで出す。	※中身をきれいにしてお出してください。
	ガ ス 缶 類	カセットコンロ用ボンベ、スプレー缶、ガスライター、乾電池	※ボンベ・スプレー缶はなるべく使い切って(穴あけ不要)資源物の日に出してください。
	粗 大 ご み	机、イス、扇風機、ベッド、ソファ(ベッド、ソファ等のスプリング入りは除く。)、大型カーペット、自転車等(農機具、タイヤ、単車、バッテリー等は収集しません。)斧、なた、鎌、かなづち、剣山(けんざん)など破砕できないもの。	家電リサイクル法の施行により、テレビ・洗濯機・冷蔵庫及び冷凍庫・エアコン・衣類乾燥機については、排出できません。ごみステーションに出した場合は、ごみの不法投棄になりますので、ご注意ください。その他の電化製品等については買い換えのときに業者に引き取ってもらいましょう。
	資 源 物	缶・雑びん、ペットボトル、プラスチック容器、段ボール、新聞紙、チラシ、雑誌、紙製容器、生きびん	詳しくは、次頁以降の「資源物の分け方・出し方」をご覧ください。
	家 電	小型家電は、電気や電池で動く家電製品。 対象品目は(28分類)パソコン、携帯電話、ミシン、オーブンレンジ、除湿器、餅つき機、電子レンジ、オイルヒーター等	詳しくはP9の「家電製品の分け方・出し方」をご覧ください。

収集場所に 出せないごみ	一時多量ごみ	引っ越しのときのごみ、庭木の刈り込み等のごみ	木の枝、草等は枯らしてから、70cm以内にして直接環境センターに持ち込んでください。(多量の場合は事前に環境センターへ御連絡下さい。)
	家電製品	テレビ・エアコン・冷蔵庫・冷凍庫 洗濯機・衣類乾燥機	家電リサイクル法の施行により、リサイクル料と運搬手数料が必要です。(メーカーによりリサイクル料は異なります。詳細は最寄りの電器店にお問い合わせください。) P13参照
	処理困難物 別途料金が必要です。	マッサージ機(イス型)、ソファ・マットレスベッド(スプリング入り)、草刈り機・チェーンソー(エンジン式)、ブロック、土砂、タイヤ、レンガ、瓦、消火器、ボンベ、バッテリー、スレート、農機具、モーター、コンプレッサー、井戸ポンプ、太陽熱温水器、ガス、灯油ボイラー	農機具、消火器、ボンベ等は専門の業者に処分してもらいましょう。 ※二輪車を廃棄する場合には、販売店・廃棄物二輪取扱店にお問い合わせ下さい。 産業廃棄物は事業者の責任において処分するか、専門の処理業者に処分してもらいましょう。 (詳細は、環境センターにお問い合わせください。)
	環境センターで 処理できないごみ	産業廃棄物、漁網、農業用ビニール、医療廃棄物、建設廃材、建築廃材、有害廃棄物等、バイク	

資源物の分け方・出し方

缶・雑びん

飲み物・食べ物の缶(ジュース缶、ビール缶、缶づめの缶、のり・お茶の缶、ペットフードの缶、お菓子の缶等)

飲み物・調味料等のびん(ジュースびん、酒類のびん、調味料のびん、化粧びん、のり・佃煮類のびん、ジャム類のびん等)



出し方注意 キャップ・栓と中身を取り除き、洗浄して(2、3回程度洗い)直接所定のコンテナに出す。

- 缶はつぶさないように出す。
- 割れたびんは『燃えないごみ』へ出す。
- 灰皿代わりに使用した缶・びんはしっかり洗浄する。
- 缶はミルク缶(大)サイズまでを出す。
- 缶のふたがはずれない物は中へ軽く押し込む。
外れたふたは『燃えないごみ』へ出す。
- 缶とびんは同じコンテナに入れる。

資源物の分け方・出し方

生きびん

一升びん・五合びん
・ビールびん



出し方注意

キャップ・栓と中身を取り除き、
洗浄して(2、3回程度洗い)直接
コンテナに出す。

○割れたびんは『燃えないごみ』へ出す。


ペットボトル

清涼飲料(ジュース、炭酸、
ミネラルウォーター等)
酒類、醤油等のペットボトル



出し方注意

手だけで容易にはがすことができるラベルははがし、キャップ・栓と
中身を取り除き、洗浄して(2、3回程度洗い)直接コンテナに出す。

○リサイクルできるペットボトルには、材質表示マーク
がついています。

○ふた(キャップ)は『プラスチック容器』へ出す。

ラベルは材質表示マークの区分で出す。

○つぶさないで出す。

資源物の分け方・出し方

プラスチック容器

飲料、食料品、調味料、調理酒類、シャンプー等の容器、レジ袋、菓子類・パン類のプラ袋、プラキャップ類等の「プラ」表示マークのついた容器包装類



出し方注意 キャップ・栓と中身を取り除き、洗浄して(2、3回程度洗い)直接コンテナに出す。

- ポンプ式シャンプー等のポンプは除いて『燃えないごみ』へ出す。
- 袋類は、中身を取り除き、きれいにして出す。
- インスタントラーメンや洗濯洗剤の容器には、紙製があるので、注意してください。

プラスチックの見分け方

※プラスチックトレイも発泡トレイもプラスチックの一種なので ♻️ プラマークが付いています。

プラスチック



- ・ ♻️ プラマークあり
- ・ 曲がるが簡単に割れない。
- ・ 先のとがったものが簡単には刺さらない。